
研究分野のキーワード：遊び，文化，自由時間，ホイジンガ，生涯スポーツ

研究紹介

現代社会における子どもの遊びは、昔と比べてかなり変化しています。この状況は、遊びそのものの変化に留まらず、様々な影響を子どもに与えています。そこで私は、現代に生きる子どもの問題を遊びとの関わりから研究しています。また、遊びによって身に付く「社会を生き抜く力」が、教育とどのような関わりをもつかについても取り組んでいます。その上で、遊びがもつ可能性について、グローバルな視点から文化の創造との関わりについて探究しています。具体的にいうと、以下の4点にまとめられます。

1. 子どもの遊びがどのように変化しているか、過去から現在について調べる。
2. 現代の遊びが、子どもにどのような影響を与えているか事例をあげて説明する。
3. 遊びにより身に付く様々な力が、教育にどのような影響を与えるか調べる。
4. 遊びが文化を創造するとの視点に立ち、遊びのもつ可能性について考える。

以上の点について、私が研究のよりどころとしているのが、オランダの文化史家ヨハン・ホイジンガです。ホイジンガは1872年に生まれ、第二次世界大戦が終結する1945年にこの世を去りました。オランダの最高学府ライデン大学の学長となったときにナチスに捕らえられ、強制収容所へ送られました。彼の研究する遊びと文化や歴史観などがナチスの考えに合わなかったからです。ホイジンガは、遊びを人間の本質と捉え、遊びの視点から文化や歴史を研究しました。そんなホイジンガは、今でも遊び研究の第一人者として、世界で広く彼の遊び論が研究されています。「文化は、遊びにおいて、遊びとして、成立し、発展した。」という彼の結論にたって、人生80年時代を迎えた今日、人々がいかにして生き甲斐を見いだすか。人生の3割を占める自由時間をいかに有効に活用するか。生涯学習、特に生涯スポーツの観点から研究しています。経済的、物質的に豊かになった日本人が、今後、目指すべきは、文化的価値、精神的価値の追求です。そして、文化的価値と経済的価値のバランス、精神的価値と物質的価値のバランス、この両者が保たれてこそ、人間のあるべき姿だと考えています。そのために、遊びは生活の中で重要な位置を占めているとの思いから、現代社会における遊びの意義と役割について研究しています。